

福原 麻由  
留学先: チェコ生命科学大学(CZU)  
科目名: 情報学  
2022年 9月15日

## ロータリ一月例報告書 Vol. 12

長い夏休みも終盤に近づいてきました。現在も引き続き地元の北海道で休暇を過ごしています。さて、今回のレポートでは私が通学しているチェコ生命科学大学について改めてご紹介したいと思います。実際に渡航してから大学に通った期間はテスト週間の6月いっぱいでしたが、ほぼ毎日通い勉強をしたりテストを受けていました。当時は詳しくご紹介していなかったのですが、学校の様子なども含めてレポートいたします。



写真: 情報学部のある経済経営学部の講義棟

簡単に大学の説明をすると、チェコ生命科学大学プラハは、2016年に創立110周年を迎えました。1906年にオーストリア＝ハンガリー帝国皇帝フランツヨーゼフ1世の命令により、プラハのチェコ工科大学に農学部が設立されたことに始まります。現在は、18,000人以上の学生(10%が留学生)、6つの学部と1つの研究所があり、BSc、MSc、およびPhDレベルで170を超える認定学習プログラムがあります。

次に私が所属する学部の施設についてご紹介します。大学の敷地内に入って一番最初に見えるのが、情報学部がある施設です。私はビザの関係で渡航できずにオンラインで授業を受けていましたが、通常の授業はこの建物内で行われています。大学はプラハの中心部から約10キロほど北上した場所に位置しており、広大な敷地内に自然が多くみられます。さらに、施設内にも多くの植物があり、学習スペースも充実しているため長時間勉強しやすい環境だと感じました。渡航してすぐにテストがあったためほぼ毎日大学のお気に入りのスペースで勉強をしていました。テ

ストを早めに終えた学生も多く、6月の下旬頃はほぼ学生がいなく静かな様子でした。



写真:よく利用していた学習スペース

6月の上旬には卒業式、中旬には入試があったため、多くの学生やその家族がおり賑わっていた日々も今となっては懐かしい日々です。



写真左:卒業式, 写真右:入試

ちょうどテストがあった日に卒業式が行われていたようで、多くの卒業生とその家族で賑わっていました。こちらでは男性はスーツ、女性はドレスを着用し家族と大学前で写真をとったり、大学内のレストランやカフェで友人同士でお祝いしている姿が目立ちました。私もあと2年後には、彼らのようにここを巣立つのだと思うと精一杯やりたいことをやり尽くそう、という気持ちになりました。また、卒業式にはプラハに家族を招待できるように勉強だけではなくお仕事やインターンをして頑張りたいです。思いがけず目にした先輩方の卒業式では、目の前のテスト勉強で必死でしたが、遠いようですぐ来るであろう卒業に向けての考えを少しばかり回すことができました。また、二年目が始まる前には現段階での卒業までのより具体的な目標設定をする予定です。





写真左: 中庭でランチ, 写真右: 学食

寮から大学までは地下鉄とバスを利用して1時間弱と通学に時間がかかるので、朝から夕方まで勉強していることが多いです。そのため昼食は大学で食べます。大学構内にはカフェがいくつかあり、学食もあります。また、敷地を出ると近くに地元のレストランもあるので飲食店が充実しています。6月は温かい時だと25度を超える真夏日も多くあり、お天気が良い時は自然が豊かな場所でゆっくり休憩することも多くありました。また学食もあるので便利です。チェコの家料理のようなものからアジア料理のようなものまで様々な種類があるため、来月からもお世話になることがありそうです。

最後に、いよいよ今月末から二年目が始まります。一年目は全てオンラインで学習を進めていたため初めての対面での授業が楽しみでありつつ、現地での新たな生活に加え通学が始まるので慣れるまでは忙しい日々になりそうです。一年目の経験や気づきを活かして、これからも充実した留学生活を送れるよう日々大切に過ごします。



写真: 旭川駅の裏にある、あさひかわ北彩都ガーデンにて。